

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	滋賀県	代表者名	三日月 大造
担当者部署	総合企画部	連絡先電話番号	077-528-3382
担当者役職	主任主事	担当者氏名	岡部 浩樹
		連絡先E-mail	
住所	520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1-1		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	新井 イスマイル
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	データ利活用に関する様々な知識をご教授いただいた点。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和6年2月8日	事前打合せ（オンライン）	有	令和6年1月29日	1182
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年2月9日	事前打合せ（オンライン）	14時00分	14時20分	
				活動時間（分）	20
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	滋賀県職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	・公開を各所属に訴えても、県民のニーズがあるのかという議論になり、行政データの公開が進まない。 ・職員のエクセル編集スキルが乏しく、機械判読性の高いデータにできない。 ・庁内でデータを活用する機運が低い ・庁内でデータを共有する仕組みがない（グループウェアで共有が可能だが、煩雑になる）	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	・オープンデータについてニーズがあり、公開を推進する意義を職員が認識する。 ・他自治体の事例から、滋賀県でもオープンデータの推進ができると職員が認識する。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・必要性が理解されていないのであれば、講演でフォローアップする方針で資料を作成する。 ・標準データセットの必須と任意の扱いについて、極力順守すべきである。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	・オープンデータ掲載ルールの見直しについて、標準データセットの扱いなど、改訂すべき項目が整理できた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講演の事前打合せのため、アンケート無し。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	県・市町のオープンデータおよびデータ利活用推進	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。